

スウェーデン発PMTCペースト 「プロフィーペーストPro パラベンフリー」 臨床での使用感

アップルデンタルセンター
(東京都西東京市)
歯科衛生士 **花岡 佑み子**



予防歯科先進国であるスウェーデン発のPMTCペースト「プロフィーペーストPro」が、このたび**パラベンフリー処方へとアップデートされました。**

私自身、これまで「パラベン」という言葉はシートパックなどの化粧品では目にする機会があったものの、歯科材料においてはあまり意識することはありませんでした。

実際、パラベンは長年にわたり安全性を前提として使用されてきた成分であり、今回の変更もその安全性を否定するものではありません。**成分の安全性を前提としたうえで、よりシンプルな設計を選択する**という、北欧ならではの考え方に基づく処方変更と捉えています。

スウェーデンでは、患者さんが小さい頃から定期的に歯科医院に通い、長期にわたってメンテナンスを受け続けることが一般的です。そのため歯科材料には、「繰り返し使用しても負担が少ないこと」「できるだけシンプルな成分設計であること」が重視されています。パラベンフリーは、そうした予防歯科中心の考え方の中で選ばれている処方の一つと言えました。

実際の使用感については、従来のものとほとんど変化を感じませんでした。**本製品の大きな特徴であるRDAが明確に表示されている**点はそのままで、プラークの厚みや古いプラークの付着状況、補綴物や歯面の状態、着色の程度に応じて、適切なペーストを選択することができます。**臨床における使い分けのしやすさは、従来通り維持されています。**



歯頸部に古いプラークが付着している時はPro Greenを選択することが多いです

プロフィーペースト Proグリーン

- ・厚みのあるプラーク
- ・スティッキーなプラーク
- ・ステインの付着





全体的に薄くプラークや所々少し濃いめのプラークにはPro Red を選択することが多いです

プロフィーペースト Proレッド

- ・全体的に薄いプラーク
- ・二次研磨に



また、ペーストの稠度も変わらず、**カップを回転させた際に飛び散りにくく、歯面にしっかりとどまってくれます。**施術中のストレスが少なく、操作性の良さもこれまでと同様です。処方が変わったからといって、日常臨床で「何か使いにくくなった」と感じる場面はありませんでした。

今後、「パラベンフリー」という言葉について患者さんから質問を受ける機会が増えるかもしれませんが、難しく説明する必要はないと感じています。「使い心地や効果はこれまでと変わらず、より多くの方に使いやすい処方になりました」と伝えるだけで十分でしょう。

今回のアップデートは、臨床の質を保ちながら、安心して選べる選択肢が一つ増えたものとして、前向きに捉えられる変更だと思いました。



プロフィーペーストPro パラベンフリー